

県内の景気動向

概況（2025 年 7 月）

景気は、緩やかに拡大している（23 カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、節約志向が継続しているものの、旺盛な観光需要を背景に回復の動きが強まっていること、建設関連は、資材価格の高止まりや人手不足により、回復に一服感が出ていること（下方修正）、観光関連は、国内外ともに旅行需要が好調に推移し、拡大の動きが強まっていること、総じて県内景気は緩やかに拡大している（判断据置）。

先行きは、旺盛な観光需要にけん引され底堅い推移が見込まれることから、引き続き緩やかに拡大するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、2 カ月ぶりに前年を上回った。引き続き免税売上が好調に推移し売上増加に寄与した。スーパー売上高は、既存店は気象要因などにより 38 カ月ぶりに減少し、全店ベースは 38 カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、夏の観光シーズンとなりレンタカー登録台数が増加したことなどから 8 カ月連続で前年を上回った。家電大型専門店販売額（6 月）は、2 カ月ぶりに前年を下回った。

先行きは、引き続き物価の動向に注視する必要があるものの、旺盛な観光需要を背景に底堅い推移が見込まれ、回復の動きが強まるとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国は増加したが、県、市町村、独立行政法人等・その他は減少したことから 3 カ月連続で前年を下回った。建築着工床面積（6 月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから 2 カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（6 月）は、給与住宅は増加したが、持家、貸家、分譲は減少したことから 2 カ月連続で前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに減少したことから 5 カ月連続で前年を下回った。建設資材関連では、セメントは 5 カ月ぶりに前年を下回り、生コンは 2 カ月ぶりに前年を下回った。鋼材売上高は 3 カ月連続で前年を下回り、木材売上高は 2 カ月ぶりに前年を下回った。

先行きは、大型工事の受注に一服感がみられ、資材価格の高止まりや人手不足、工期の長期化などを背景に、回復の動きが鈍化するものとみられる。

観光関連

入域観光客数は、44 カ月連続で前年を上回った。国内客は 13 カ月連続で増加し、外国客は 34 カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率は 16 カ月連続で前年を上回り、売上高、宿泊収入はともに 14 カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は 41 カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は 2 カ月ぶりに減少し、売上高は 2 カ月連続で前年を上回った。一部では大阪・関西万博に流れる動きもみられたが、堅調な国内観光需要や外国客の増加により、引き続き好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、秋の行楽シーズンに向けて国内客の増加も予想されることから、拡大の動きが強まるとみられる。

雇用関連

新規求人数は、前年同月比 4.5%減となり 3 カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業（他に分類されないもの）、宿泊業・飲食サービス業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は 1.12 倍で、前月と同水準となった。完全失業率（季調値）は 2.9%と、前月から 0.1 ポイント低下した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 3.2%の上昇となり 47 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.3%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 4.0%の上昇となった。

倒産件数は 8 件で前年同月から 4 件増加した。負債総額は 8 億 9,100 万円で、前年同月比 18.9%減となった。

りゅうぎん調査（2025 年 7 月）

増減率（％）

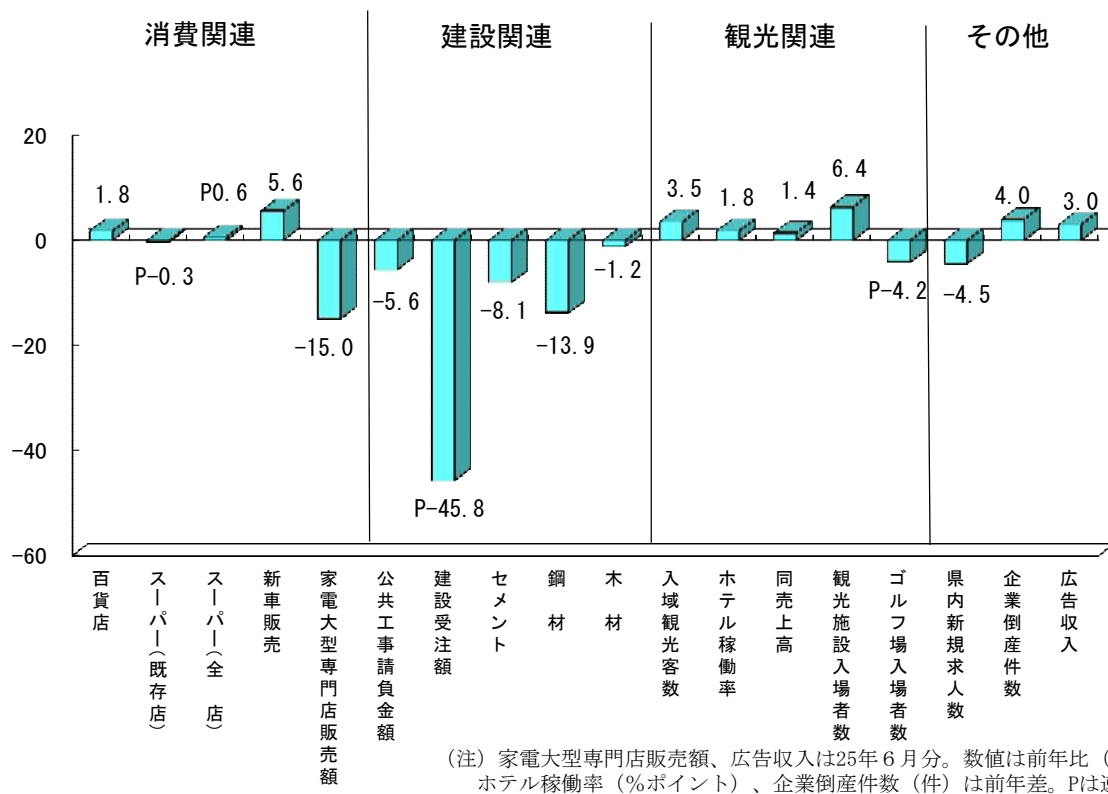
	前年同月比	前年同期比 (2025.5－2025.7)
1. 消費関連		
(1) 百貨店（金額）	1.8	1.3
(2) スーパー（既存店）（金額）	P ▲ 0.3	P 3.0
(3) スーパー（全店）（金額）	P 0.6	P 3.6
(4) 新車販売（台数）	5.6	12.0
(5) 家電大型専門店販売額（金額）	(6月) ▲ 15.0	(4-6月) ▲ 5.3
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額（金額）	▲ 5.6	▲ 10.5
(2) 建築着工床面積（m ² ）	(6月) ▲ 45.2	(4-6月) ▲ 24.0
(3) 新設住宅着工戸数（戸）	(6月) ▲ 33.1	(4-6月) ▲ 20.4
(4) 建設受注額（金額）	P ▲ 45.8	P ▲ 43.7
(5) セメント（トン数）	▲ 8.1	▲ 0.3
(6) 生コン（m ³ ）	▲ 10.9	▲ 2.6
(7) 鋼材（金額）	▲ 13.9	▲ 12.9
(8) 木材（金額）	▲ 1.2	▲ 1.7
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数（人数）	3.5	10.8
うち外国客数（人数）	9.2	33.6
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 1.8	(前年同期差) 4.1
	(実数) 69.2	(実数) 64.3
(3) " 売上高（金額）	1.4	4.5
(4) 観光施設入場者数（人数）	6.4	13.1
(5) ゴルフ場入場者数（人数）	P ▲ 4.2	P ▲ 0.1
(6) " 売上高（金額）	P 0.8	P 5.4
4. その他		
(1) 県内新規求人数（人数）	▲ 4.5	▲ 5.4
(2) 有効求人倍率（季調値）	1.12	1.11
(3) 消費者物価指数（総合）	3.2	3.6
(4) 企業倒産件数（件数）	(前年同月差) 4	(前年同期差) 0
(5) 広告収入（県内マスコミ）（金額）	(6月) 3.0	(4-6月) ▲ 0.2

（注 1）公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

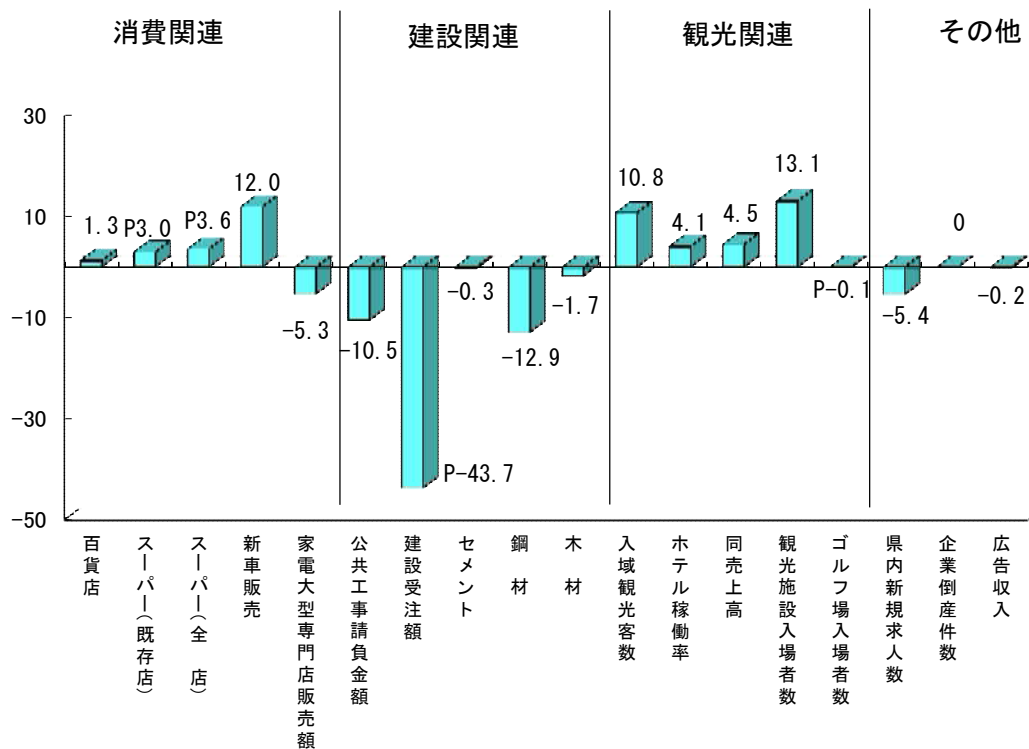
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

（注 2）有効求人倍率（季調値）と県内新規求人数（人数）は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2025年7月)

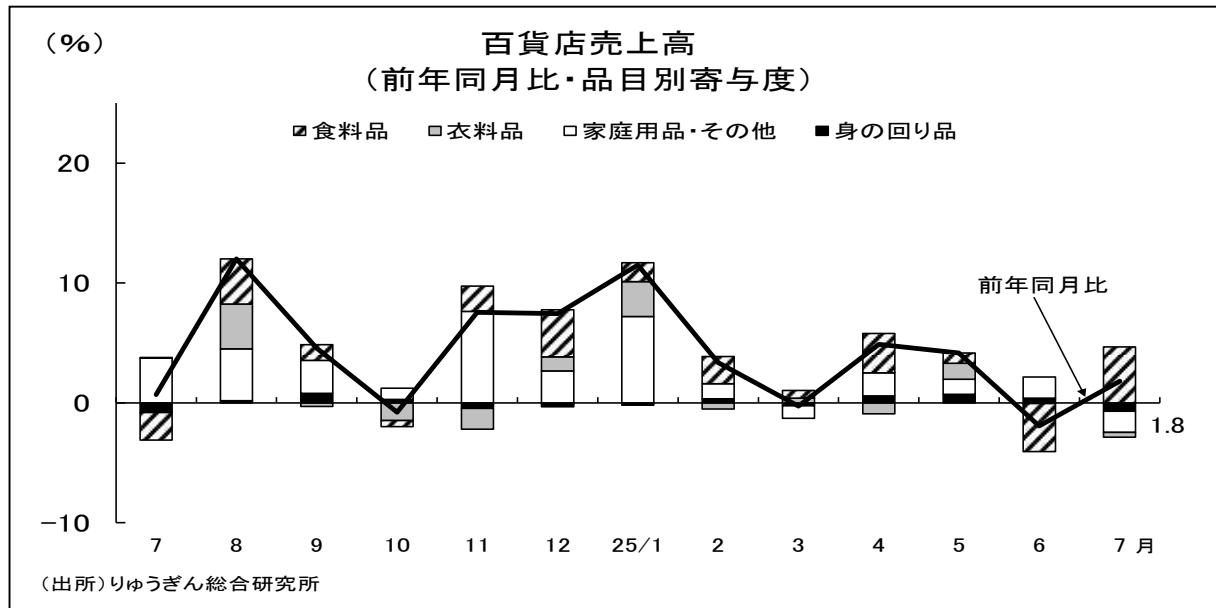


項目別グラフ(3カ月、2025年5月～2025年7月)



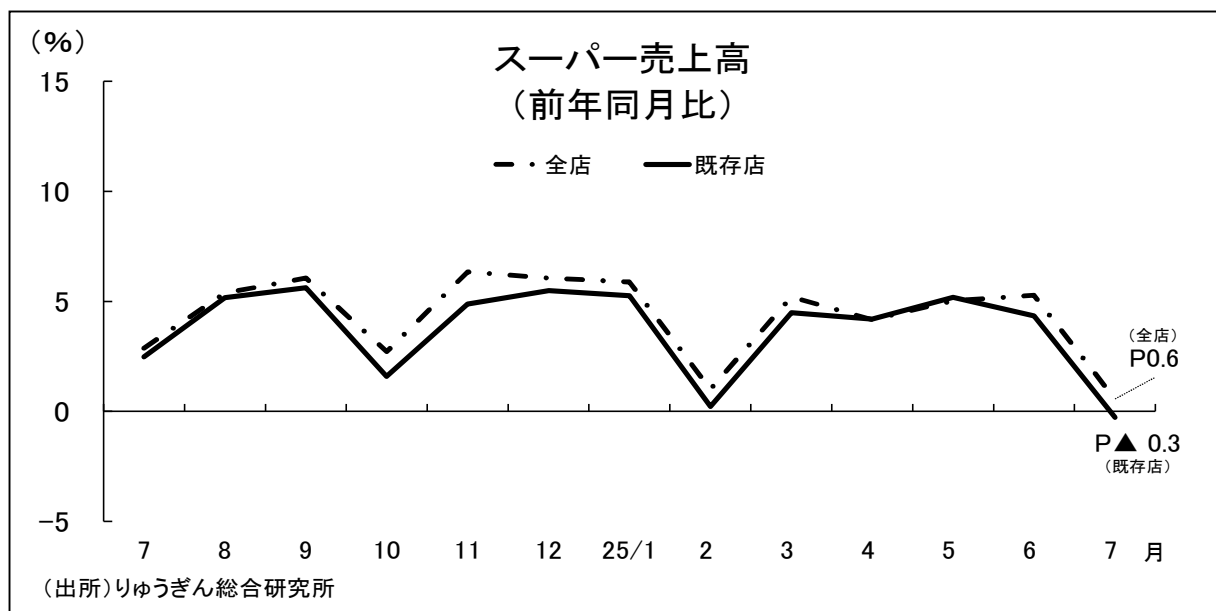
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：2カ月ぶりに増加



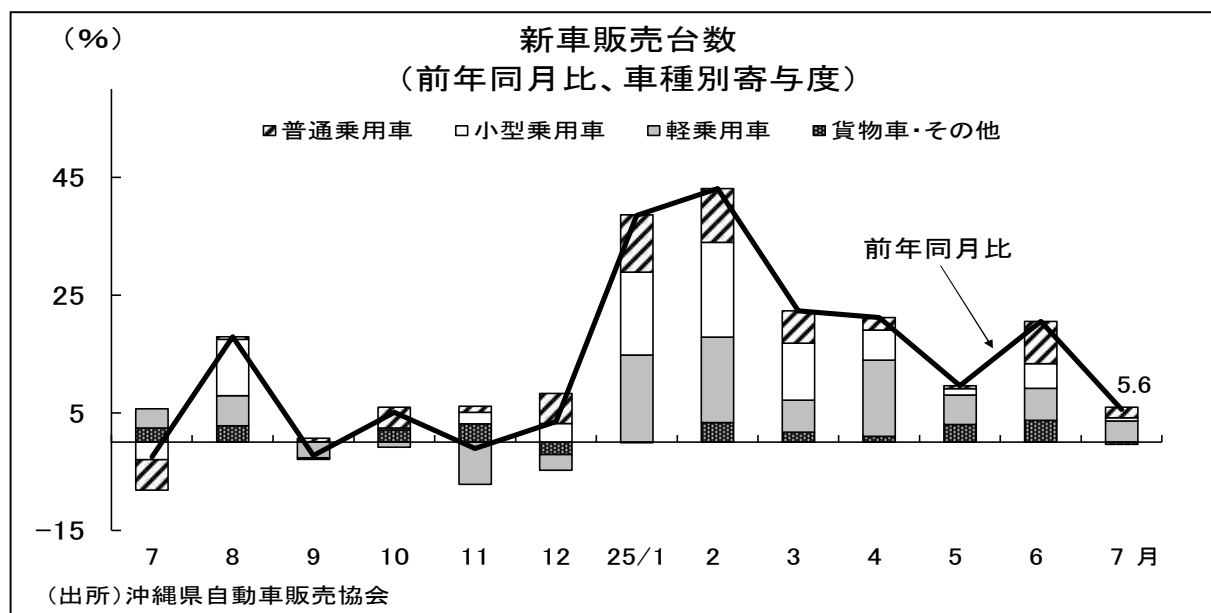
- ・百貨店売上高は、前年同月比 1.8%増と 2 カ月ぶりに前年を上回った。
- ・引き続き免税売上が好調となり売上増加に寄与したほか、中元早期受注特典の展開時期の相違（前年：6 月、今年：7 月）などもあり前年を上回った。
- ・品目別にみると、食料品が同 12.3%増、衣料品が同 1.4%減、家庭用品・その他が同 6.3%減、身の回り品が同 12.3%減となった。

(2) スーパー売上高：既存店は 38 カ月ぶりに減少、全店は 38 カ月連続で増加



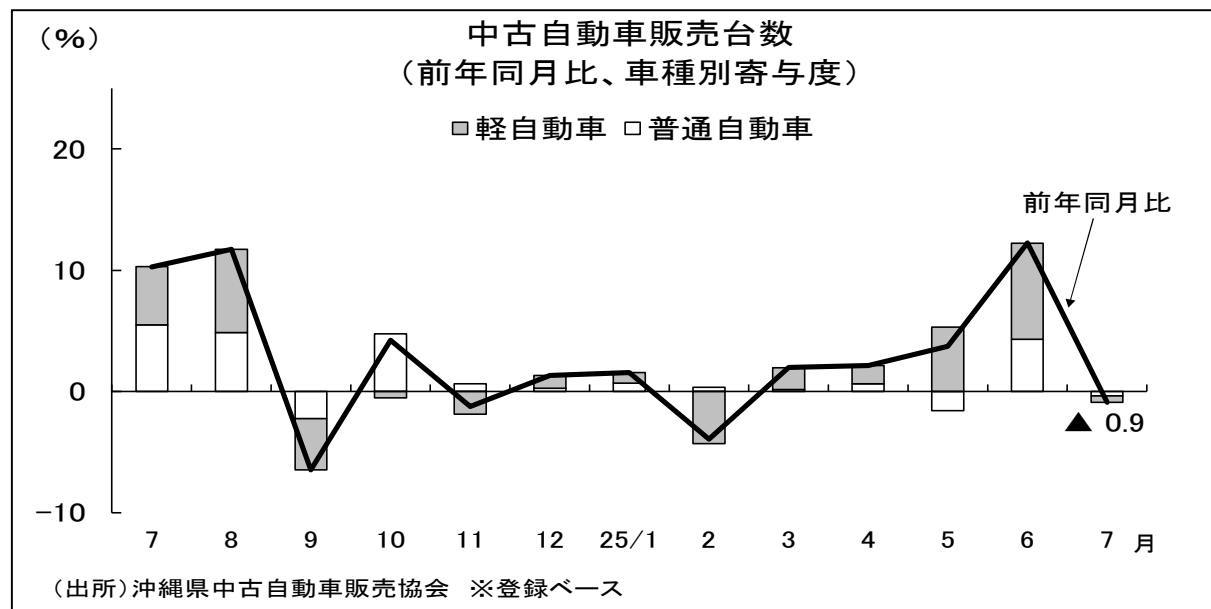
- ・スーパー売上高（速報値）は、既存店ベースは前年同月比 0.3%減と 38 カ月ぶりに前年を下回った。
- ・前年に比べ降雨日・降雨量ともに多く、来店客数の減少がみられたことなどが影響した。
- ・食料品は、節約志向の継続から買上点数が減少傾向にあるものの、値上げによる単価上昇などにより同 1.0%増となった。衣料品は、平均気温が低く推移したことなどから夏物衣料の動きが鈍く同 0.1%減、住居関連は同 7.9%減となった。
- ・全店ベースは同 0.6%増と 38 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：8カ月連続で増加



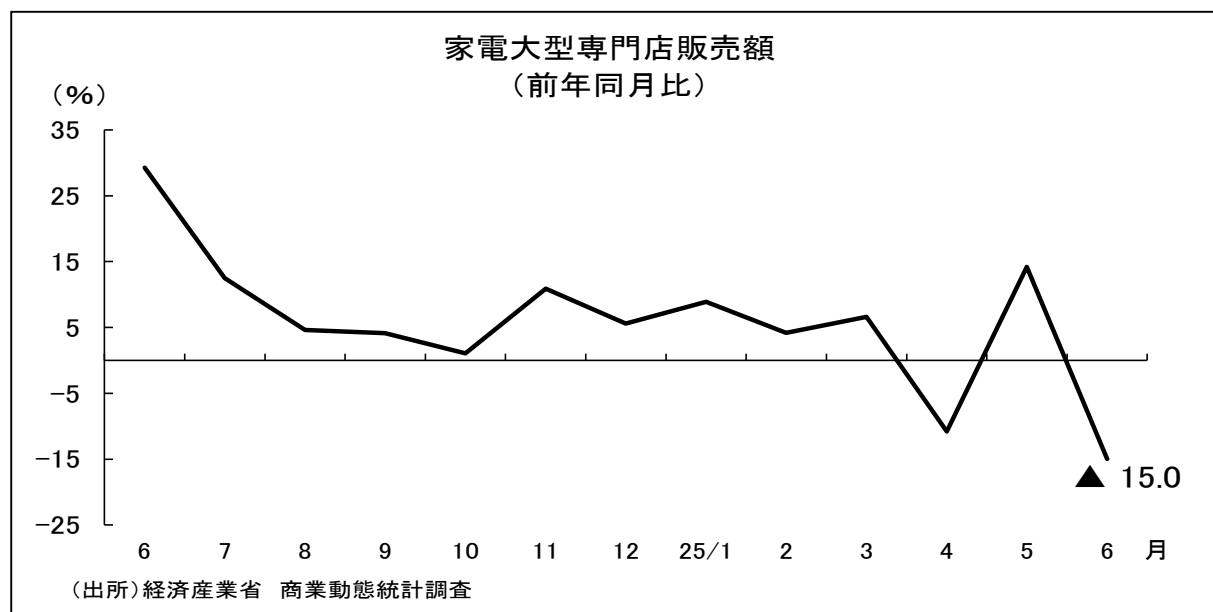
- ・ 新車販売台数は4,873台で前年同月比5.6%増と、8カ月連続で前年を上回った。
- ・ 夏の観光シーズンとなり、引き続きレンタカー登録台数の増加などが全体を押し上げた。
- ・ 車種別にみると、普通自動車（登録車）は2,824台（前年同月比4.8%増）で、うち普通乗用車は1,334台（同6.6%増）、小型乗用車は1,292台（同1.9%増）であった。軽自動車（届出車）は2,049台（同6.7%増）で、うち軽乗用車は1,676台（同11.1%増）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：5カ月ぶりに減少



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、2万912台で前年同月比0.9%減と5カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が8,621台（前年同月比0.9%減）、軽自動車が1万2,291台（同0.9%減）となった。

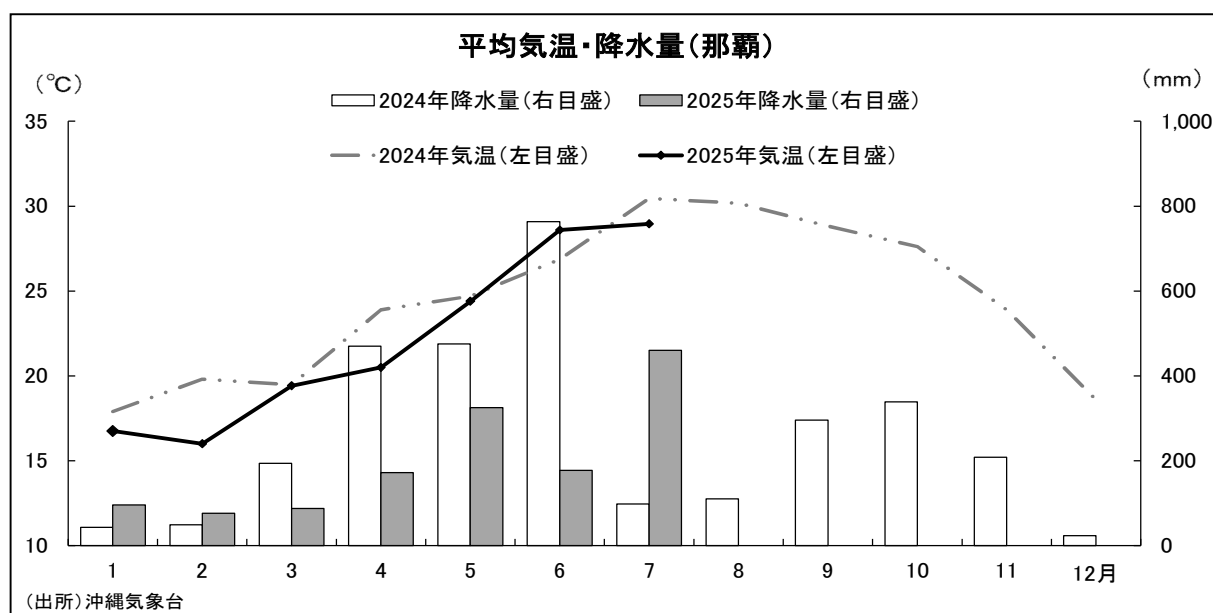
(5) 家電大型専門店販売額：2カ月ぶりに減少



- ・ 家電大型専門店販売額（6月）は、前年同月比 15.0%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 前年同月は、県による支援策「省エネ家電買い替え応援キャンペーン」（購入・設置対象期間：2024年6月～2025年1月末）の開始に伴い、対象となるエアコンや冷蔵庫などの売上増加が顕著となり、その反動減がみられた。

(参考)

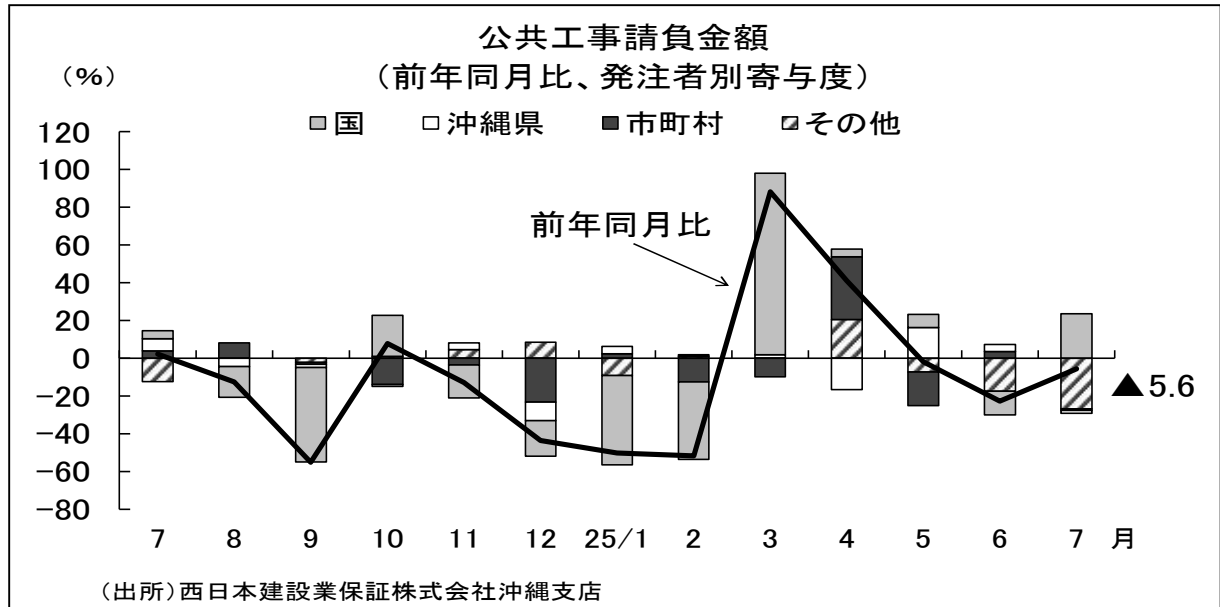
◇ 気象：平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は 29.0℃で前年同月（30.5℃）より低く、降水量は 460.0mmで前年同月（98.0mm）より多かった。
- ・ 沖縄地方は、上旬から中旬にかけて台風第4号および第6号の影響、下旬は台風第7号および第8号の影響を受け、月を通して曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所もあった。
- ・ 平均気温は平年並み、日照時間は平年よりかなり少なく、降水量は平年よりかなり多かった。

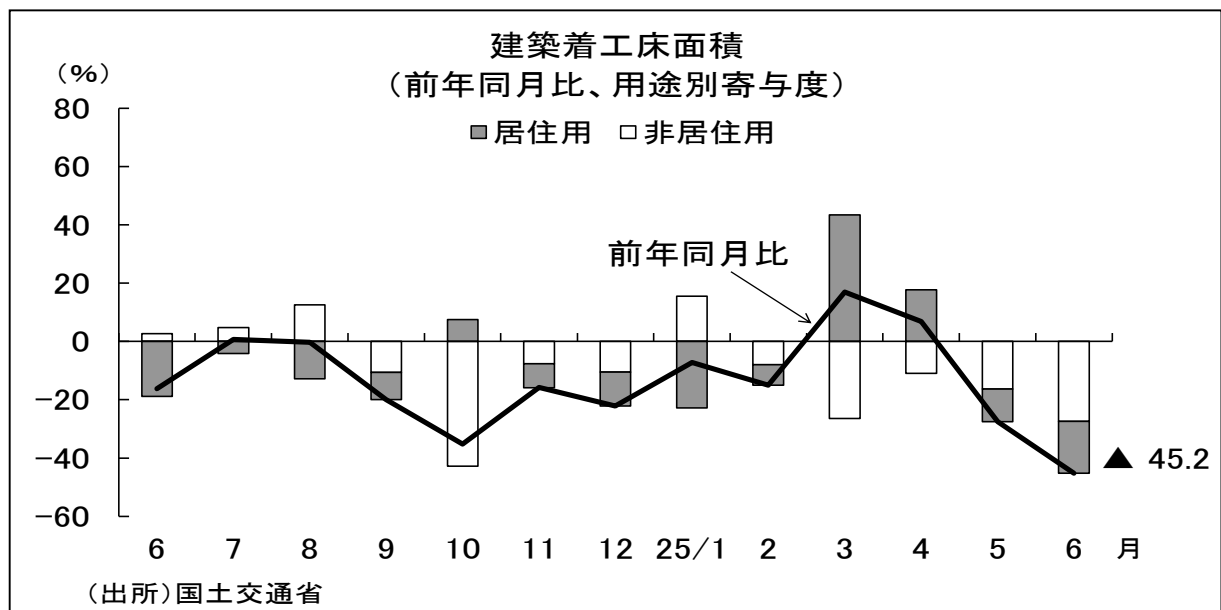
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：3カ月連続で減少



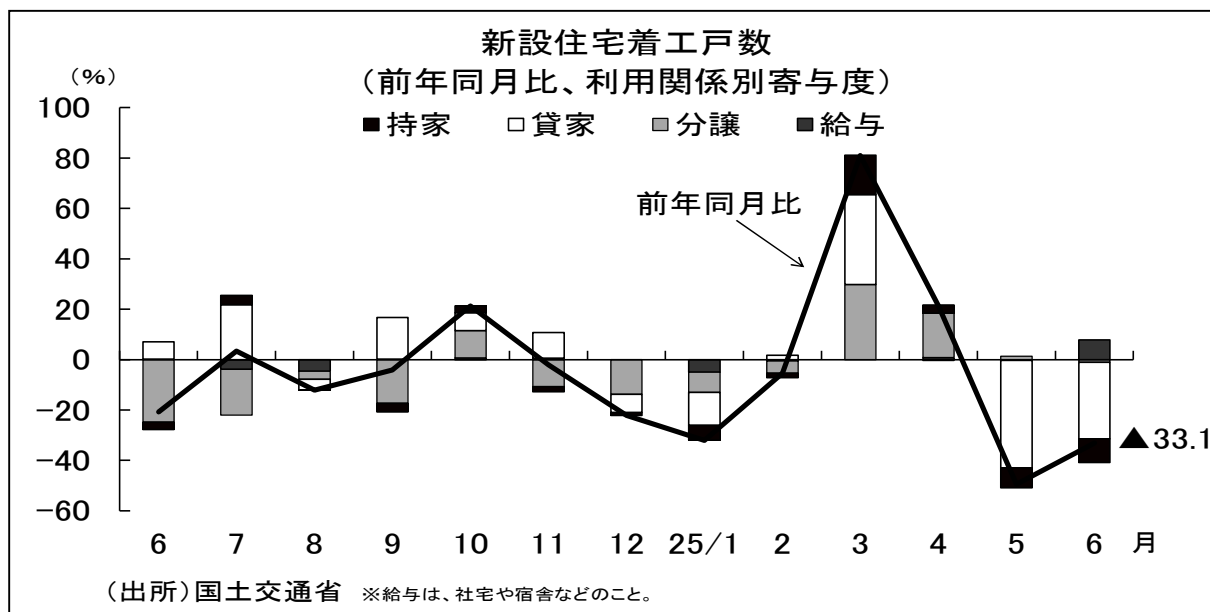
- 公共工事請負金額は、427 億 63 百万円で前年同月比 5.6%減となり、3カ月連続で前年を下回った。
- 発注者別では、国は同 103.5%増となり、県は同 8.6%減、市町村は同 3.1%減、独立行政法人等・その他は同 87.1%減となった。

(2) 建築着工床面積：2カ月連続で減少



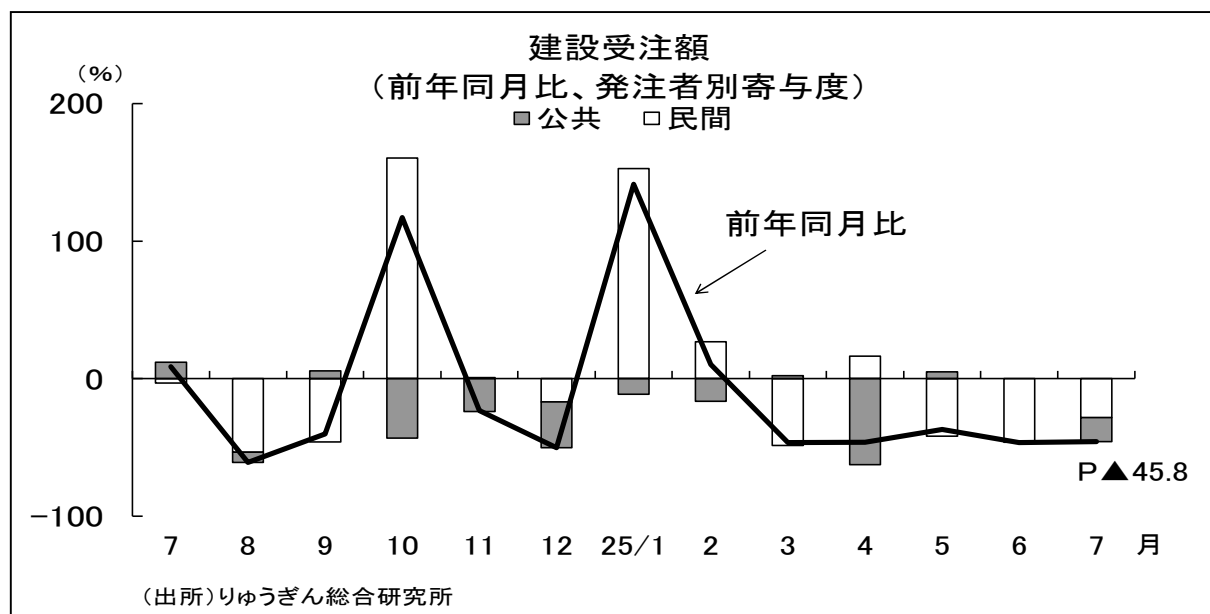
- 建築着工床面積(6月)は7万3,256 ㎡で前年同月比 45.2%減と2カ月連続で前年を下回った。居住用は同 31.9%減となり、非居住用は同 61.8%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では居住専用、居住産業併用ともに減少した。非居住用では、電気・ガス・熱供給・水道業用などが増加し、飲食店・宿泊業用、その他サービス業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月連続で減少



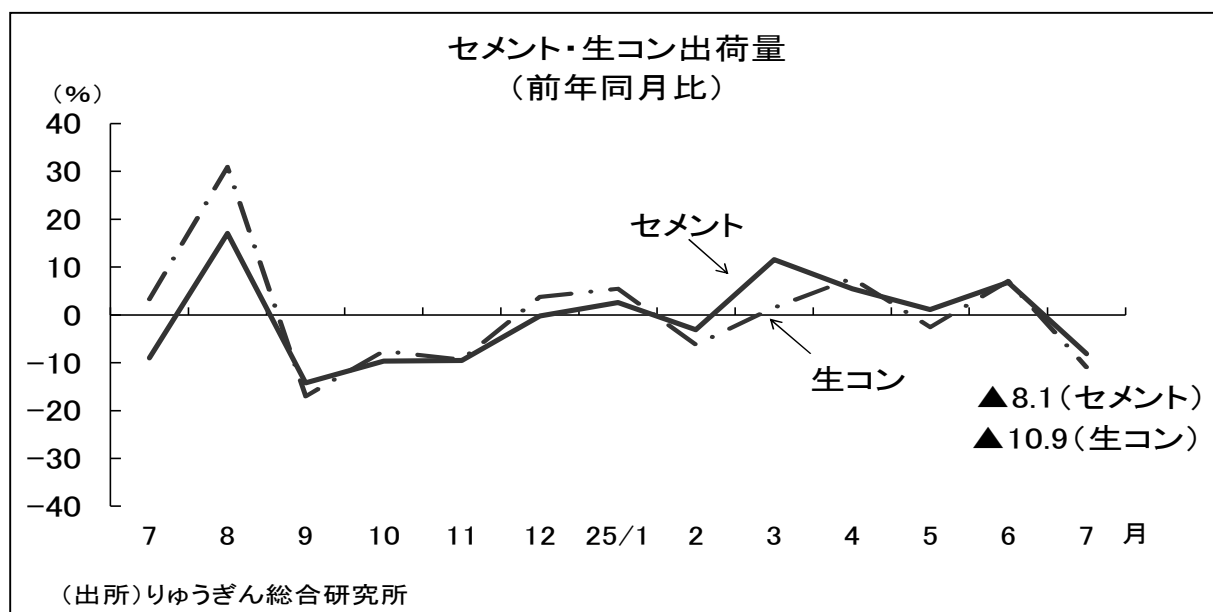
- ・ 新設住宅着工戸数（6月）は644戸で前年同月比33.1%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、給与住宅（82戸）が同1,071.4%増となり、持家（106戸）が同45.9%減、貸家（302戸）が同49.2%減、分譲（154戸）が同6.1%減となった。

(4) 建設受注額：5カ月連続で減少



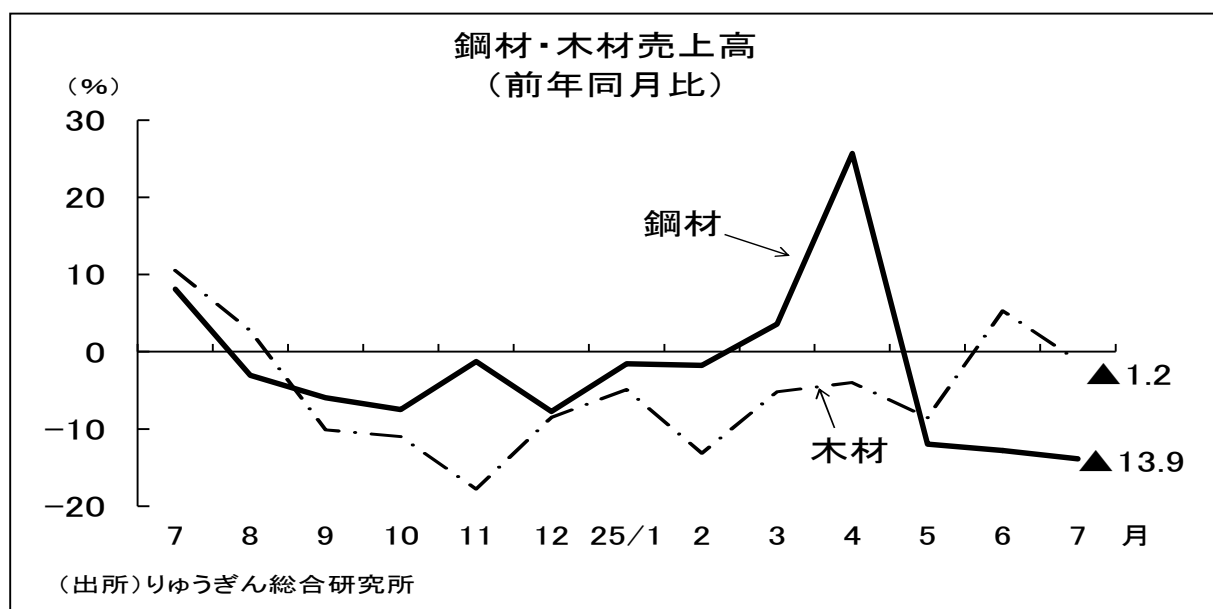
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社、速報値）は前年同月比45.8%減と5カ月連続で前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同49.5%減と2カ月連続で減少し、民間工事は同43.8%減と3カ月連続で減少した。

(5) セメント・生コン：セメントは5カ月ぶりに減少、生コンは2カ月ぶりに減少



- ・ セメント出荷量は5万5,294トンとなり、前年同月比8.1%減と5カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は9万5,181 m³で同10.9%減と2カ月ぶりに前年を下回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、防衛省向けなどが増加し、学校関連向け、海事工事向けなどが減少した。民間工事では、ホテル向けなどが増加し、マンション向け、社屋関連向けなどが減少した。

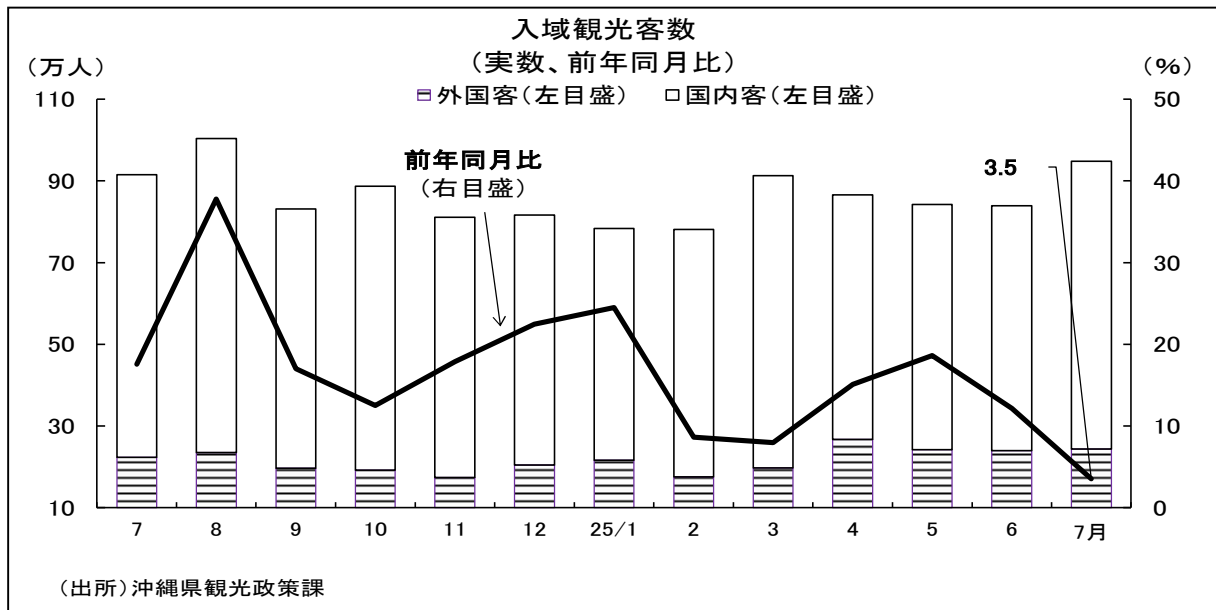
(6) 鋼材・木材：鋼材は3カ月連続で減少、木材は2カ月ぶりに減少



- ・ 鋼材売上高は、出荷量が減少したこと、鋼材価格が下落したことなどから前年同月比13.9%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 木材売上高は、出荷量が減少したことなどから同1.2%減と2カ月ぶりに前年を下回った。

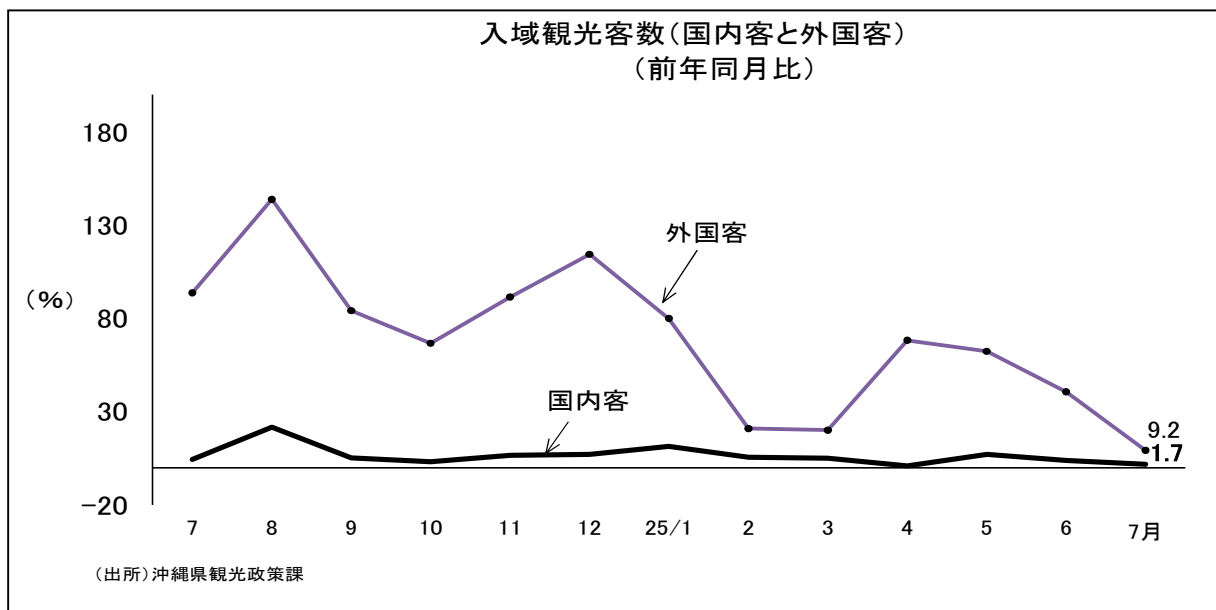
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：44 カ月連続で増加



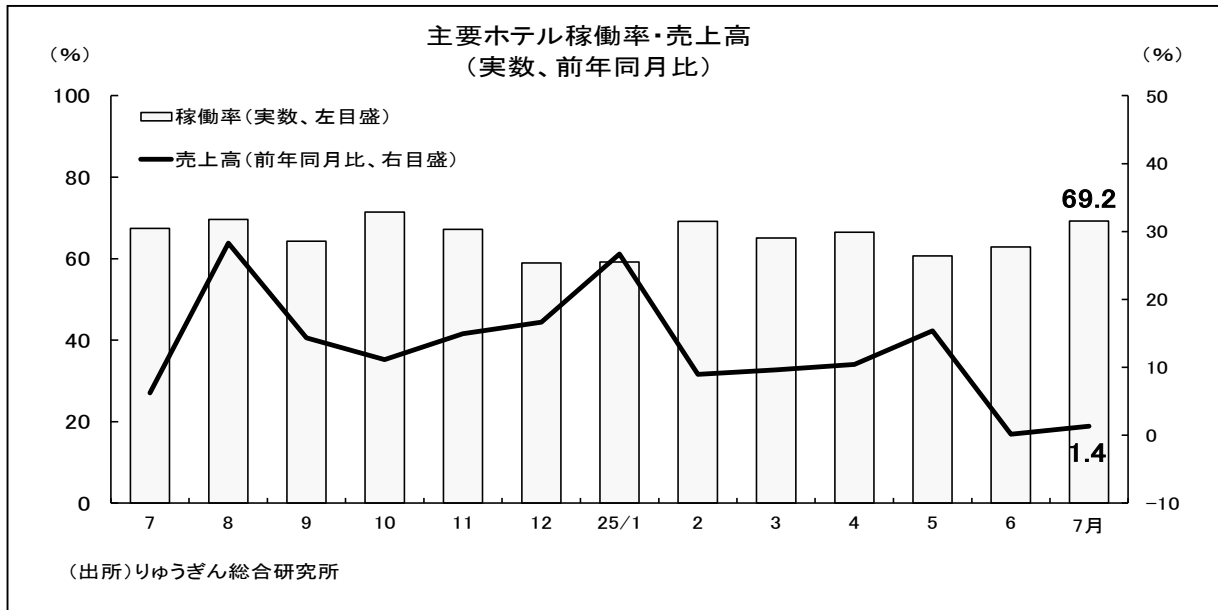
- 入域観光客数は、94万7,800人（前年同月比3.5%増）となり、44カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は87万9,700人（同6.8%増）となり44カ月連続で前年を上回った。海路は6万8,100人（同25.7%減）となり4カ月ぶりに前年を下回った。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は13 カ月連続で増加、外国客は34 カ月連続で増加



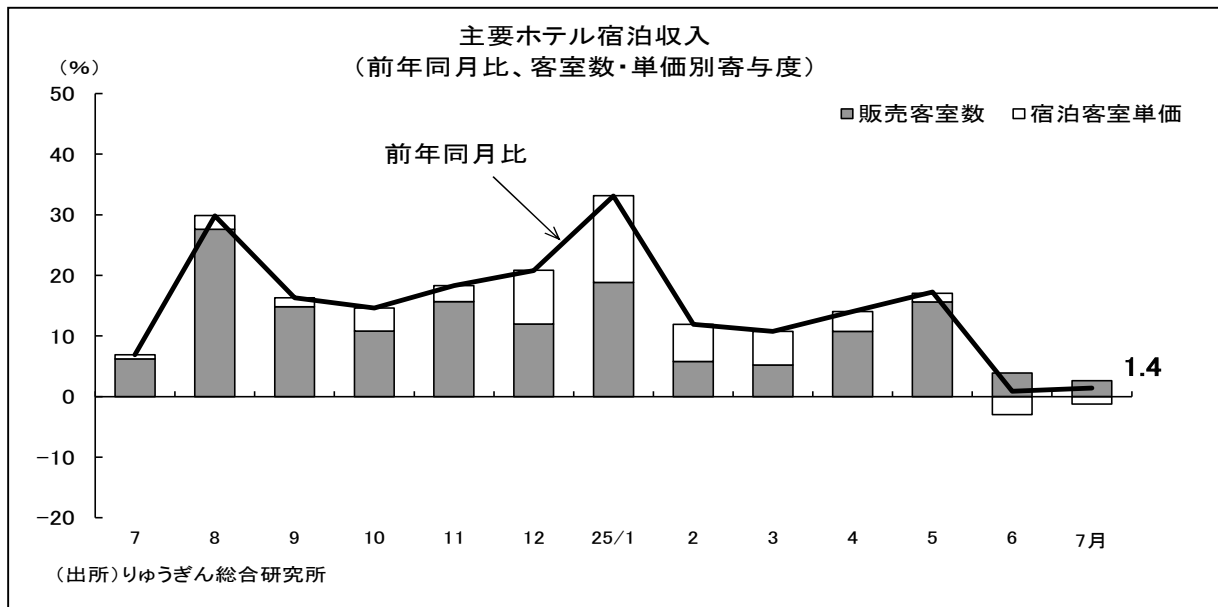
- 国内客は、70万4,200人（前年同月比1.7%増）となり、13カ月連続で前年を上回った。外国客は24万3,600人（同9.2%増）となり、34カ月連続で増加した。
- 航空会社の季節運航や県内各種イベント等の開催により好調な推移となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は16カ月連続で上昇、売上高は14カ月連続で増加



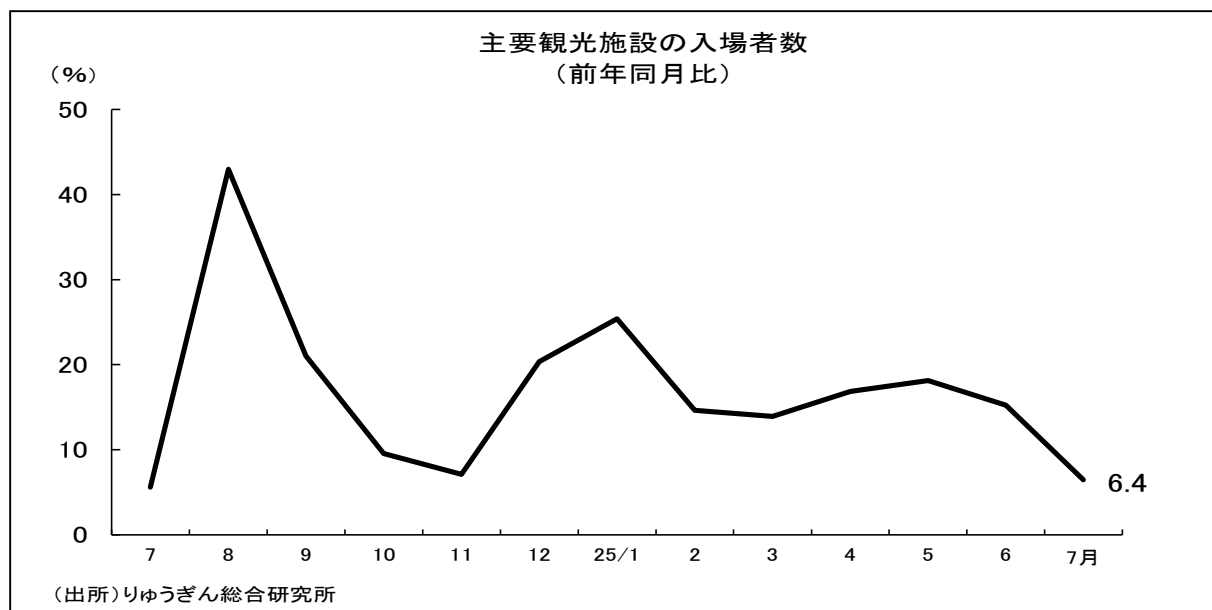
- ・ 主要ホテルの客室稼働率は69.2%と前年同月差1.8%ポイント上昇し16カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比1.4%増となり、14カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルの客室稼働率は72.5%と同1.9%ポイント上昇し、19カ月連続で前年を上回り、売上高は同9.8%増と20カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテルの客室稼働率は68.0%と同1.7%ポイント上昇し、16カ月連続で前年を上回り、売上高は同0.3%増と2カ月ぶりに前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：14カ月連続で増加



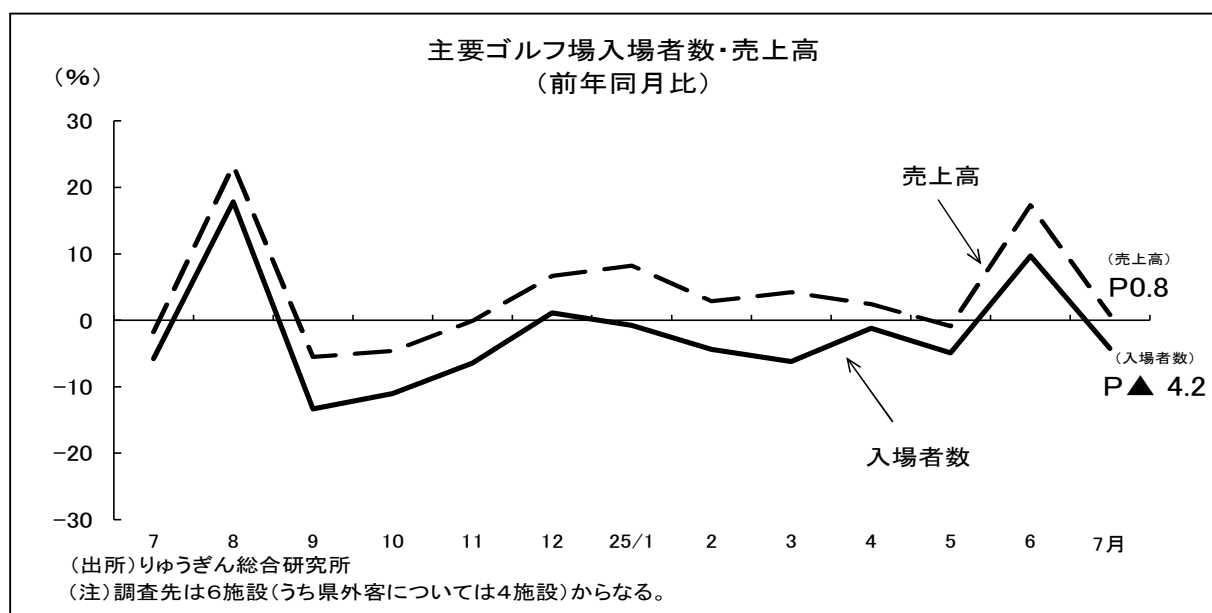
- ・ 主要ホテルの売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）は低下し、前年同月比1.4%増と14カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価も上昇し、同12.7%増となり19カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテルは、販売客室数が増加、宿泊単価は低下し、前年同月比で変わらずとなった。

(5) 主要観光施設の入場者数：41 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 6.4%増と 41 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 個人や一般団体旅行等が好調に推移した。

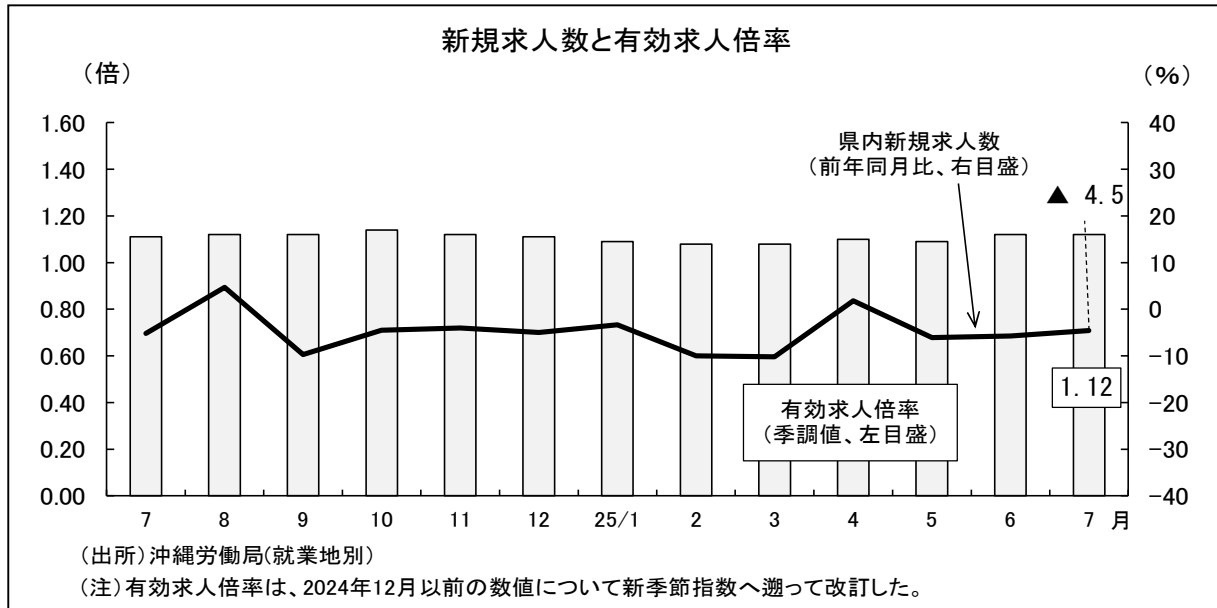
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は2 カ月ぶりに減少、売上高は2 カ月連続で増加



- ・ 主要ゴルフ場（速報値）の入場者数は、前年同月比 4.2%減と 2 カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 県内客は 2 カ月ぶりに前年を下回り、県外客は 5 カ月連続で前年を上回った。売上高は同 0.8% 増と 2 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 台風や大雨により入場者数は減少したものの、単価の引き上げが売上の増加につながった。

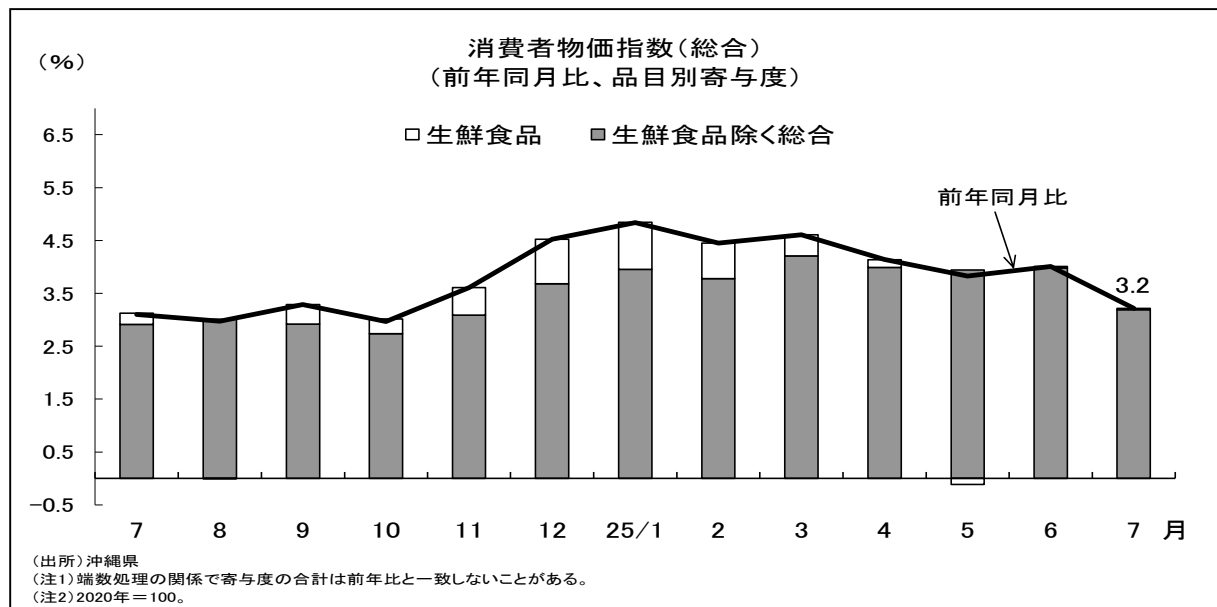
4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は同水準



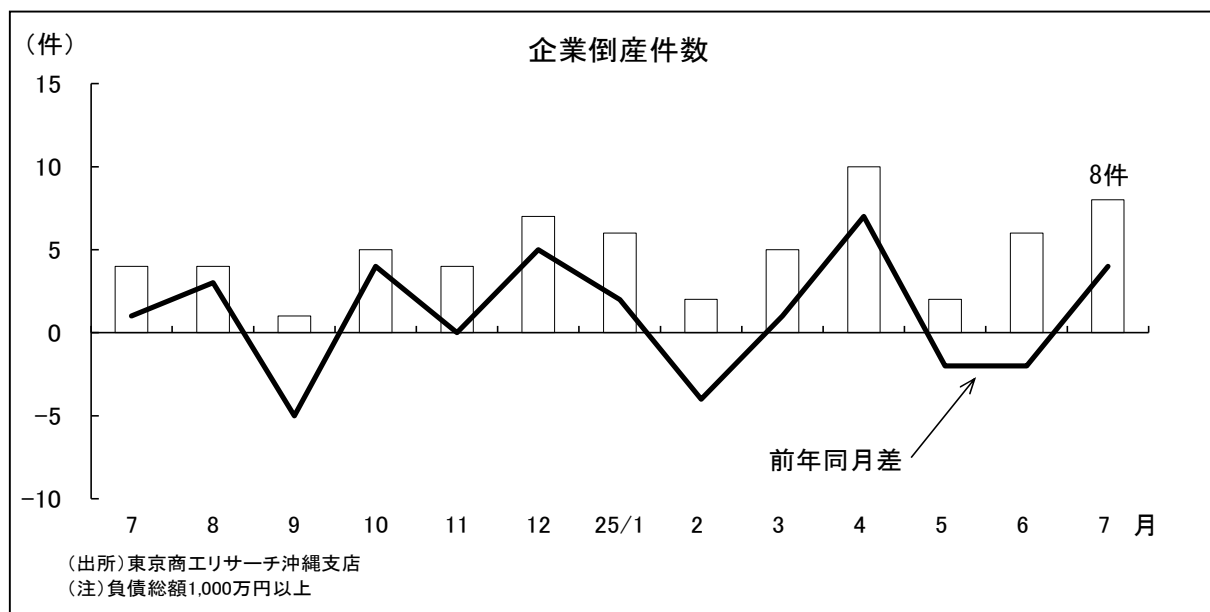
- 新規求人数は、前年同月比 4.5%減となり 3 カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業（他に分類されないもの）、宿泊業・飲食サービス業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は 1.12 倍で、前月と同水準となった。
- 労働力人口は 77 万 8,000 人で同 0.8%減となり、就業者数は 75 万 3,000 人で同 0.5%減となった。完全失業者数は 2 万 4,000 人で同 11.1%減となり、完全失業率（季調値）は 2.9%と、前月から 0.1 ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数：47 カ月連続で上昇



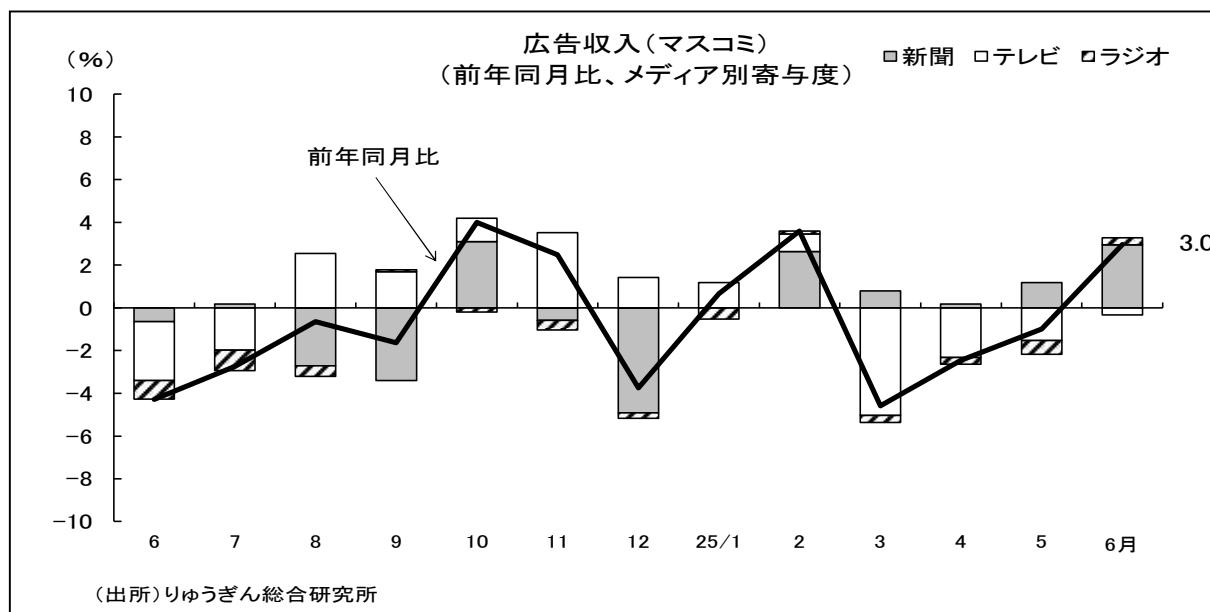
- 消費者物価指数は、前年同月比 3.2%の上昇となり、47 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.3%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 4.0%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料、交通・通信などで上昇し、教育、光熱・水道などで下落した。

(3) 企業倒産：件数は増加、負債総額は減少



- ・ 倒産件数は8件で前年同月から4件増加した。業種別では、農・林・漁・鉱業が1件、建設業が2件、小売業が1件、不動産業が1件、サービス業他が3件となった。
- ・ 負債総額は8億9,100万円で、前年同月比18.9%減となった。

(4) 広告収入 (マスコミ)：4カ月ぶりに上昇



- ・ 広告収入 (マスコミ：6月) は、前年同月比3.0%増と4カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 小売業やレジャー関連の広告需要がみられ、前年を上回った。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台 数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2024	6.0	4.9	5.4	10.2	▲ 9.3	1.5	405,602	▲ 4.7	1,206	▲ 9.8
2024 7	0.7	2.5	2.9	12.5	▲ 2.5	10.3	45,309	2.2	99	0.7
8	12.0	5.2	5.4	4.6	17.9	11.7	23,591	▲ 12.5	96	▲ 0.3
9	4.6	5.6	6.1	4.1	▲ 2.2	▲ 6.5	33,001	▲ 55.1	86	▲ 19.9
10	▲ 0.8	1.6	2.7	1.1	5.1	4.2	24,622	7.7	94	▲ 35.3
11	7.5	4.9	6.3	10.9	▲ 1.0	▲ 1.2	26,680	▲ 12.9	75	▲ 15.8
12	7.4	5.5	6.1	5.6	3.5	1.3	10,062	▲ 43.5	108	▲ 22.1
2025 1	11.5	5.3	6.1	8.9	38.5	1.6	20,977	▲ 50.2	72	▲ 7.2
2	3.4	0.2	1.0	4.2	43.1	▲ 3.9	26,062	▲ 51.7	64	▲ 15.0
3	▲ 0.3	P4.5	P5.2	6.6	22.3	2.0	141,950	88.1	121	17.0
4	4.9	P4.2	P4.2	▲ 10.8	21.2	2.1	20,078	41.1	116	6.9
5	4.1	P5.2	P5.0	14.2	9.6	3.7	21,968	▲ 2.0	109	▲ 27.5
6	▲ 1.9	P4.3	P5.3	▲ 15.0	20.5	12.2	26,348	▲ 22.7	73	▲ 45.2
7	1.8	P▲0.3	P0.6	—	5.6	▲ 0.9	42,763	▲ 5.6	—	—
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	—	—	—
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	14.6	▲ 2.5	—	—	—
2024	9,703	▲ 4.7	▲ 10.4	▲ 4.1	▲ 2.4	0.7	▲ 0.1	—	—	—
2024 7	955	3.4	8.6	▲ 9.0	3.3	8.1	10.5	277.0	▲ 14.3	▲ 4.8
8	744	▲ 12.2	▲ 61.0	17.0	31.0	▲ 3.1	2.7	300.1	▲ 3.7	▲ 6.0
9	810	▲ 4.1	▲ 40.4	▲ 14.2	▲ 17.0	▲ 5.9	▲ 10.1	305.2	▲ 3.4	▲ 7.1
10	906	21.3	117.1	▲ 9.7	▲ 7.6	▲ 7.5	▲ 11.0	299.2	▲ 3.4	▲ 3.5
11	766	▲ 2.0	▲ 23.2	▲ 9.5	▲ 9.3	▲ 1.3	▲ 17.8	299.9	0.0	▲ 2.3
12	858	▲ 22.1	▲ 50.2	▲ 0.2	3.8	▲ 7.7	▲ 8.5	288.7	0.0	▲ 1.1
2025 1	522	▲ 32.0	141.4	2.6	5.5	▲ 1.6	▲ 4.9	290.5	0.0	0.0
2	605	▲ 5.5	10.2	▲ 3.1	▲ 6.2	▲ 1.8	▲ 13.1	289.7	0.0	0.0
3	1,155	81.0	▲ 46.4	11.5	1.5	3.6	▲ 5.2	297.7	0.0	0.0
4	1,034	21.4	▲ 46.3	5.5	7.7	25.7	▲ 4.0	295.4	▲ 3.4	▲ 1.1
5	406	▲ 49.5	▲ 37.0	1.1	▲ 2.5	▲ 11.9	▲ 8.5	291.4	▲ 10.3	▲ 4.6
6	644	▲ 33.1	▲ 46.4	6.8	7.1	▲ 12.8	5.3	280.3	▲ 6.9	▲ 6.9
7	—	—	P▲45.8	▲ 8.1	▲ 10.9	▲ 13.9	▲ 1.2	P258.3	P▲10.3	P▲9.2
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均＝100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	63.0	3.3
2024	9,661.5	17.3	2,125.5	115.4	68.7	59.8	24.5	9.3	16.0	▲ 4.9
2024 7	912.0	17.1	219.7	90.7	70.5	65.9	26.6	4.0	5.6	▲ 5.8
8	1,003.8	37.8	235.0	143.8	72.7	62.6	39.5	9.6	43.0	17.8
9	831.0	17.0	196.2	84.1	70.3	62.1	35.4	11.4	21.0	▲ 13.3
10	886.7	12.5	192.3	66.6	76.2	69.7	30.2	8.1	9.6	▲ 11.0
11	810.8	17.8	174.0	91.0	77.5	63.4	33.2	11.0	7.1	▲ 6.5
12	809.5	21.4	197.2	107.1	73.0	53.7	20.9	15.5	20.3	1.1
2025 1	783.4	24.5	216.6	79.9	71.3	54.8	28.4	26.2	25.4	▲ 0.7
2	781.3	8.6	175.1	20.9	78.9	63.6	15.8	7.1	14.6	▲ 4.4
3	912.4	8.0	197.0	20.0	76.3	60.9	21.6	7.1	13.9	P▲6.2
4	865.8	15.1	267.3	68.2	73.5	63.9	19.1	8.8	16.8	P▲1.2
5	842.7	18.6	241.7	62.3	69.0	55.5	31.4	9.5	18.1	P▲4.9
6	838.9	12.2	239.5	40.6	71.9	59.1	9.2	▲2.6	15.2	P9.7
7	947.8	3.5	243.6	9.2	72.5	68.1	9.8	0.3	6.4	P▲4.2
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新 規 求人数 (県内)	広告 収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2024	54	5,479	61.2	3.3	3.2	1.2	1.13	▲ 4.2	▲ 0.2
2024 7	4	1,099	647.6	3.1	3.2	2.0	1.11	▲ 5.1	▲ 2.9
8	4	201	905.0	3.0	2.8	3.7	1.12	4.7	▲ 0.7
9	1	56	▲ 92.7	3.3	3.4	1.4	1.12	▲ 9.7	▲ 1.6
10	5	537	168.5	3.0	3.4	▲ 1.3	1.14	▲ 4.5	4.0
11	4	287	20.1	3.6	3.2	1.0	1.12	▲ 4.0	2.5
12	7	491	346.4	4.5	3.1	1.9	1.11	▲ 5.0	▲ 3.7
2025 1	6	336	▲ 19.2	4.8	2.7	0.6	1.09	▲ 3.3	0.7
2	2	98	▲ 37.6	4.5	2.1	0.4	1.08	▲ 10.0	3.6
3	5	316	179.6	4.6	3.1	0.4	1.08	▲ 10.2	3.1
4	10	535	184.6	4.1	3.9	0.7	1.10	1.9	▲ 2.5
5	2	280	409.1	3.8	3.0	1.7	1.09	▲ 6.0	▲ 1.0
6	6	653	▲ 65.2	4.0	3.0	0.4	1.12	▲ 5.7	3.0
7	8	891	▲ 18.9	3.2	2.9	▲ 0.5	1.12	▲ 4.5	—
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		りゅうぎん 総研調べ

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年＝100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2024年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
年度	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	2,533	4,025	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2024FY	3,259	5,033	▲ 1,775	1.420	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
2024 7	659	527	132	1.314	63,442	1.8	62,633	1.7	43,166	3.7
8	279	584	▲ 305	1.311	63,652	2.2	62,812	2.1	43,433	4.5
9	201	381	▲ 179	1.316	63,344	1.8	62,606	1.8	43,566	4.2
10	242	492	▲ 250	1.373	62,937	1.7	62,115	1.5	43,558	4.6
11	208	362	▲ 154	1.374	63,526	2.4	62,719	2.4	43,885	5.1
12	476	211	265	1.420	63,599	2.6	62,829	2.7	43,933	4.0
2025 1	161	589	▲ 427	1.423	62,709	1.7	61,867	1.6	44,059	4.3
2	217	385	▲ 168	1.420	62,619	1.7	61,886	1.8	44,573	5.1
3	252	390	▲ 137	1.487	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
4	250	333	▲ 82	1.531	64,184	1.3	63,446	1.3	44,886	5.3
5	191	668	▲ 476	1.537	64,061	1.5	63,253	1.5	44,954	5.3
6	－	－	－	－	64,224	1.0	63,507	1.1	45,091	5.2
7	－	－	－	－	－	－	62,974	0.5	45,113	4.5
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
年度	億円	前年比	億円	前年比	2020年=100	前年比	百万円	百万円
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	－	－	75,417	302,815
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	－	－	52,671	288,310
2024FY	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	－	－	41,614	304,121
2024 7	9,905	▲ 5.4	2,831	▲ 4.7	75.5	7.2	3,042	55,228
8	9,877	▲ 4.0	2,810	▲ 5.2	70.9	3.1	2,076	38,014
9	9,811	▲ 4.2	2,792	▲ 5.7	71.3	▲ 9.4	1,810	12,758
10	9,678	▲ 6.2	2,788	▲ 5.6	74.0	1.5	2,062	14,711
11	9,631	▲ 6.4	2,778	▲ 6.0	69.8	▲ 9.4	1,968	24,723
12	9,600	▲ 6.3	2,761	▲ 6.3	92.8	▲ 0.9	2,040	45,032
2025 1	9,567	▲ 6.2	2,747	▲ 6.4	92.7	▲ 12.7	1,915	22,405
2	9,512	▲ 6.8	2,717	▲ 7.1	80.5	▲ 13.9	11,433	22,700
3	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	91.1	0.4	2,631	17,269
4	9,768	▲ 3.7	2,660	▲ 7.7	91.1	4.6	1,975	21,291
5	9,725	▲ 3.5	2,636	▲ 7.7	90.9	▲ 0.7	1,841	37,615
6	9,674	▲ 3.4	2,618	▲ 7.9	91.1	0.1	5,718	60,742
7	9,587	▲ 3.2	2,596	▲ 8.3	－	－	3,056	24,731
出所	沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡り改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2024年11月より2020年＝100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。